



2026年8月20日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

14,936万kW

13時30分、149,364 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,862万kW

11時30分、48,620 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

90万kW

1時、904 MW

◇ 再エネ最大需要比

41.2%

12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

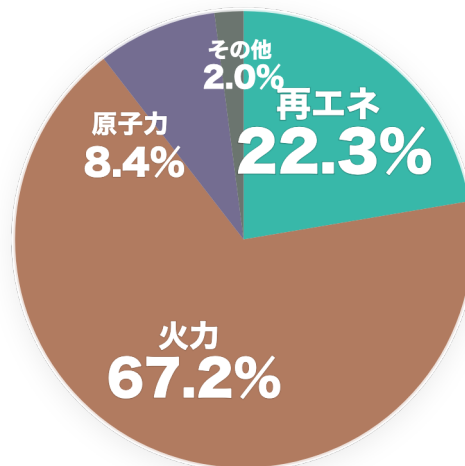
東京

120 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

117 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 41.0%

37.2 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

64.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:30に4,814万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで41.0%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	22.3%	発電電力量ベース
再エネ発電量	646 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,893 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	41.2%	12時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	64.7 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	41.0%	37.2	0.0	送電 5.2
東北	26.4%	96.2	0.0	送電 117
東京	17.4%	142	0.0	受電 120
中部	25.2%	97.5	0.0	受電 56.2
北陸	29.6%	24.6	0.0	受電 5.0
関西	15.9%	71.4	0.0	受電 40.8
中国	24.5%	52.3	0.0	送電 17.3
四国	25.5%	31.2	0.0	送電 35.9
九州	26.9%	91.3	0.0	送電 28.4
沖縄	10.7%	3.2	0.0	—



2026年8月20日の供給実績

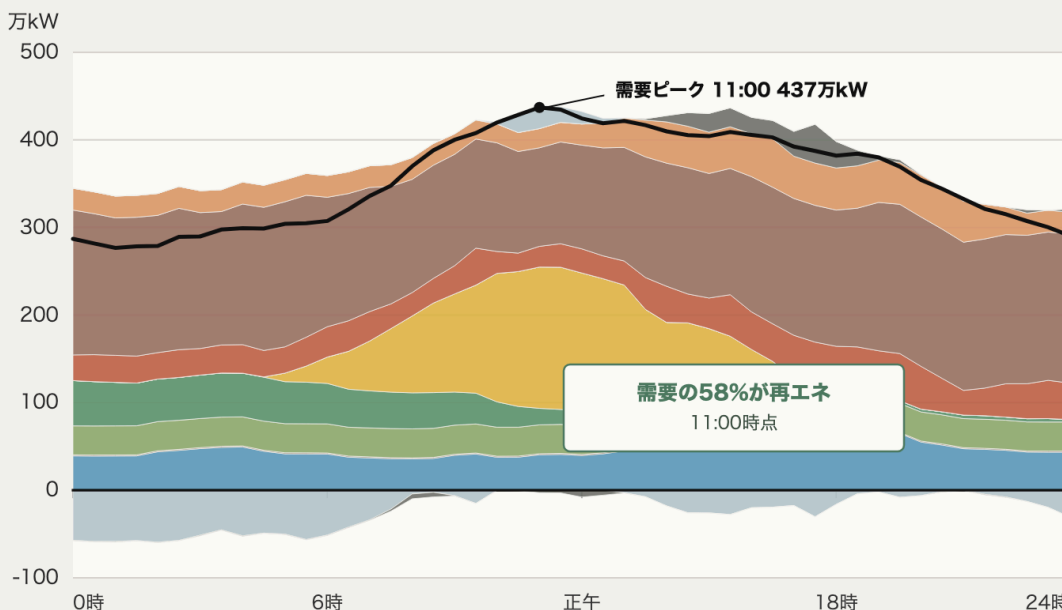
北海道エリア

再エネ

37.2GWh

(発電電力量ベース41.0%)

北海道エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 91GWh
(908万kWh)

再エネ	37.2GWh (41.0%)
太陽光	11.4GWh (12.5%)
水力	11.5GWh (12.7%)
風力	6.0GWh (6.7%)
バイオマス	7.9GWh (8.7%)
地熱	0.3GWh (0.3%)
LNG火力	8.5GWh (9.4%)
石炭火力	35.9GWh (39.6%)
石油等火力	7.9GWh (8.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	1.2GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

90.8GWh

需要ピーク

11:00、437万kW

連系線・その他

5.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク162万kW、風力ピーク52万kWで、時間別の再エネ最大需要比は59.0%だった。



2026年8月20日の供給実績

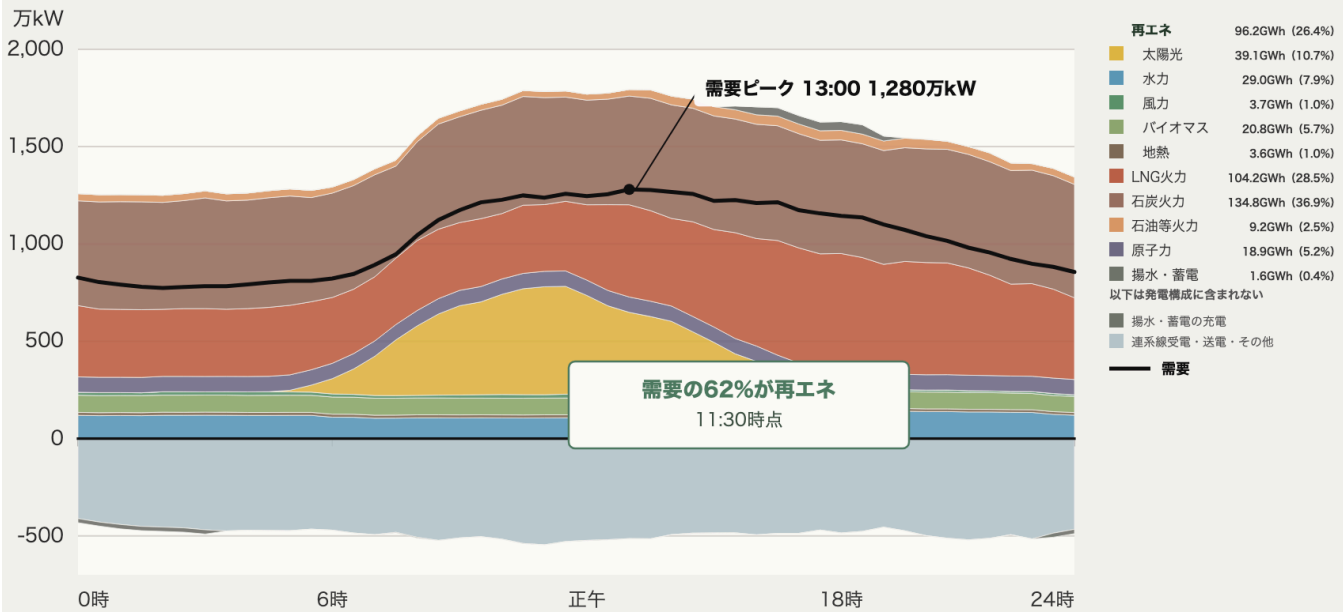
東北エリア

再エネ

96.2GWh

(発電電力量ベース26.4%)

東北エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

364.9GWh

需要ピーク

13:00、1,280万kW

連系線・その他

117.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク555万kW、風力ピーク22万kWで、時間別の再エネ最大需要比は63.1%だった。



2026年8月20日の供給実績

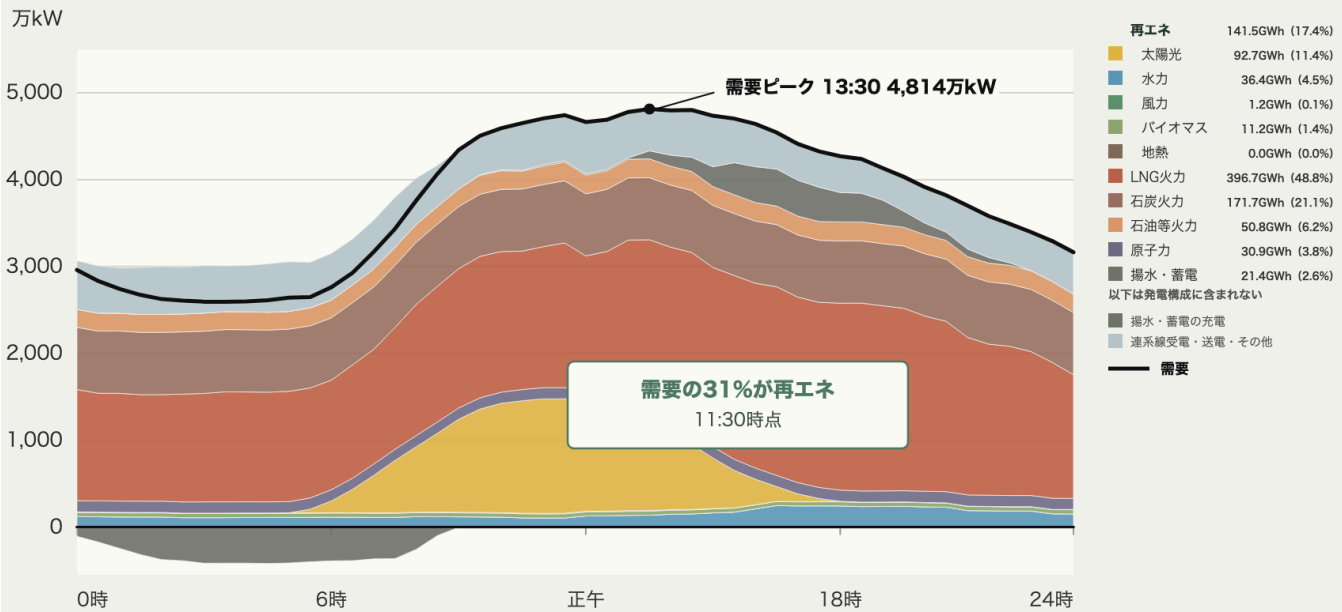
東京エリア

再エネ

141.5GWh

(発電電力量ベース17.4%)

東京エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

813.1GWh

需要ピーク

13:30、4,814kW

連系線・その他

120.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

29.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,319万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.4%だった。



2026年8月20日の供給実績

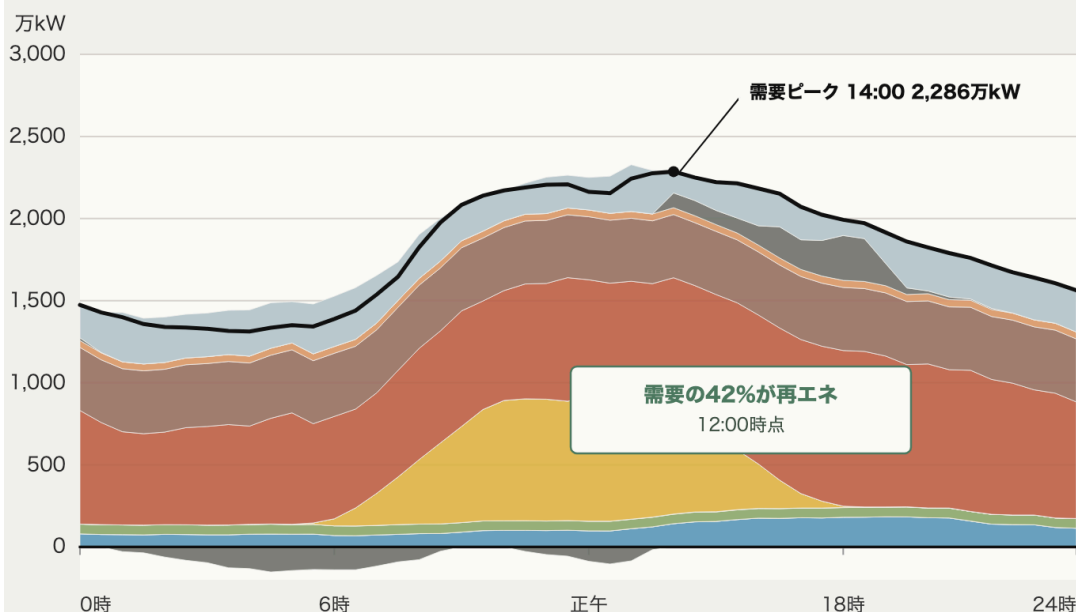
中部エリア

再エネ

97.5GWh

(発電電力量ベース25.2%)

中部エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 387GWh
(3,872万kWh)

再エネ	97.5GWh (25.2%)
太陽光	55.2GWh (14.3%)
水力	28.0GWh (7.2%)
風力	0.1GWh (0.0%)
バイオマス	14.1GWh (3.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	178.3GWh (46.1%)
石炭火力	92.1GWh (23.8%)
石油等火力	10.1GWh (2.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	9.2GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

387.2GWh

需要ピーク

14:00、2,286万kW

連系線・その他

56.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク756万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は42.2%だった。



2026年8月20日の供給実績

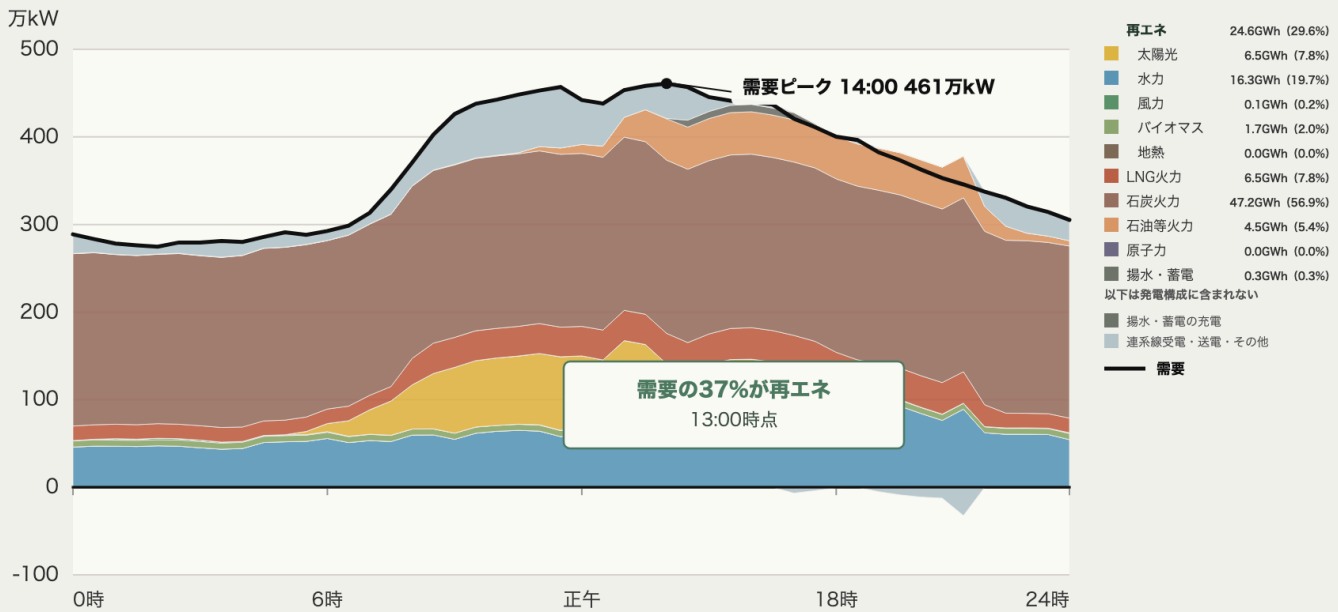
北陸エリア

再エネ

24.6GWh

(発電電力量ベース29.6%)

北陸エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

83.0GWh

需要ピーク

14:00、461万kW

連系線・その他

5.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク84万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は36.9%だった。



2026年8月20日の供給実績

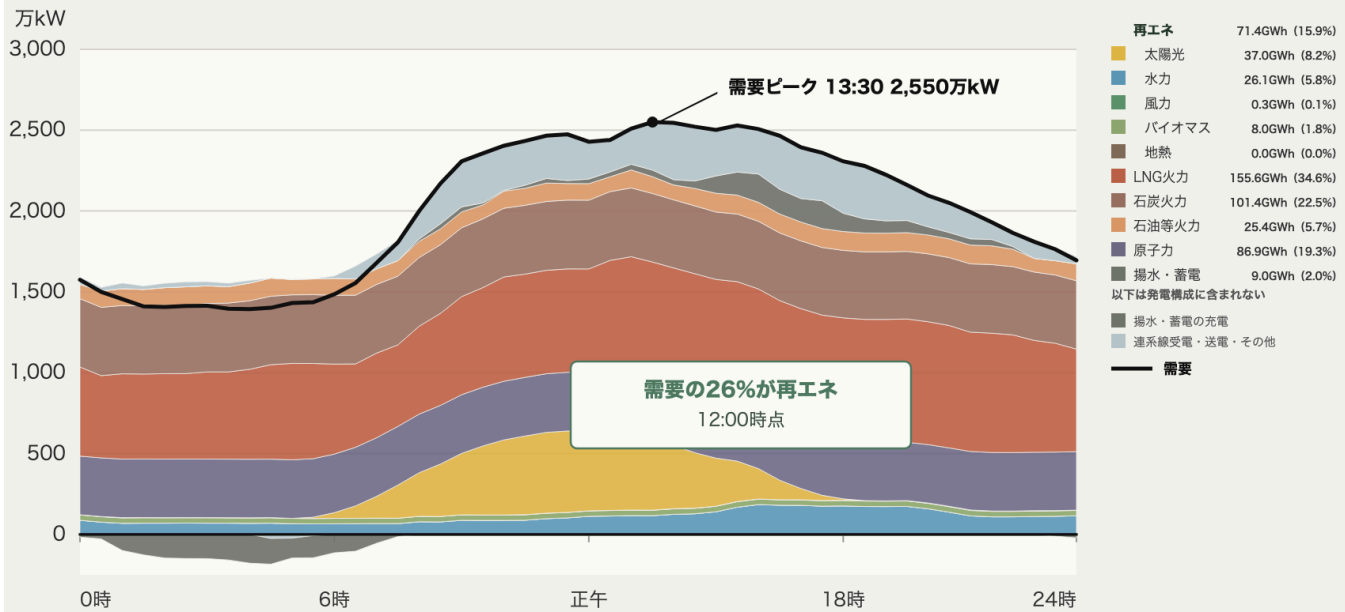
関西エリア

再エネ

71.4GWh

(発電電力量ベース15.9%)

関西エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

449.7GWh

需要ピーク

13:30、2,550kW

連系線・その他

41.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

8.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク504万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.4%だった。



2026年8月20日の供給実績

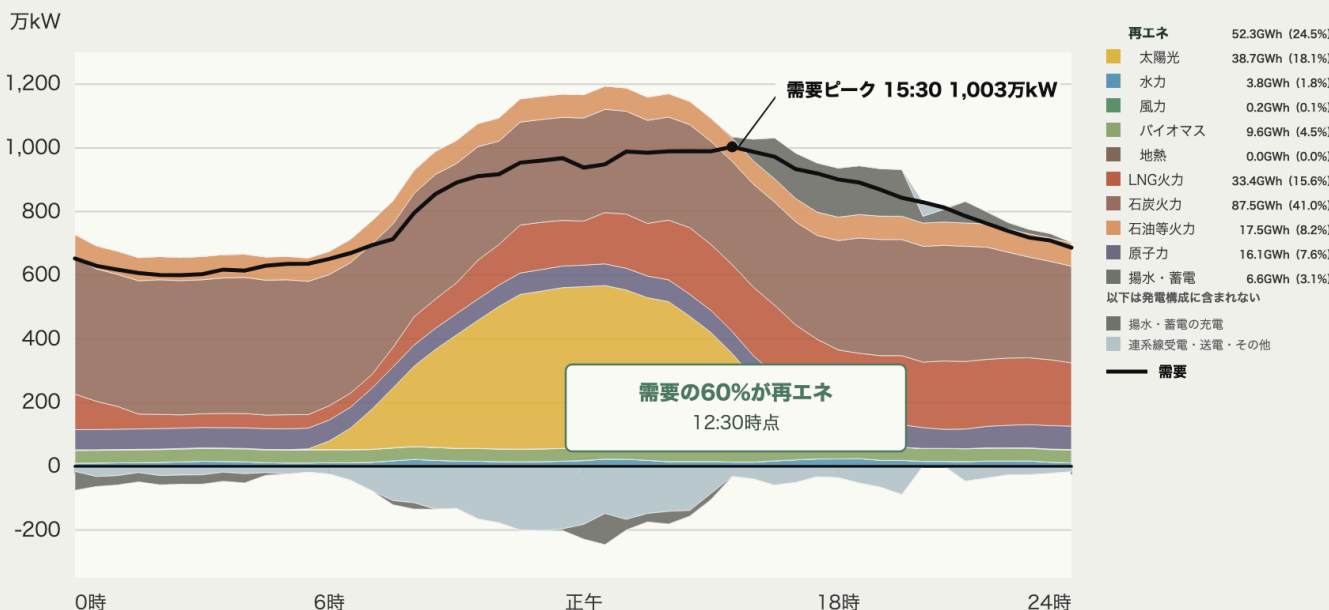
中国エリア

再エネ

52.3GWh

(発電電力量ベース24.5%)

中国エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

213.4GWh

需要ピーク

15:30、1,003万kW

連系線・その他

17.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク506万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.1%だった。



2026年8月20日の供給実績

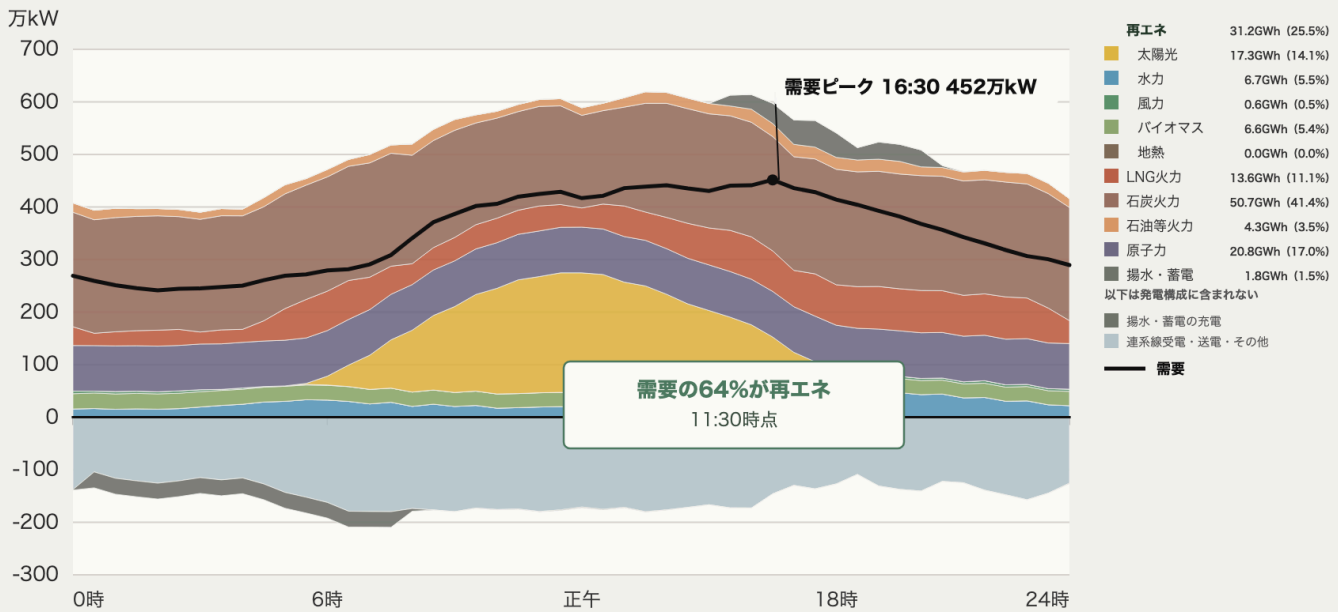
四国エリア

再エネ

31.2GWh

(発電電力量ベース25.5%)

四国エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

122.3GWh

需要ピーク

16:30、452万kW

連系線・その他

35.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク229万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は65.9%だった。



2026年8月20日の供給実績

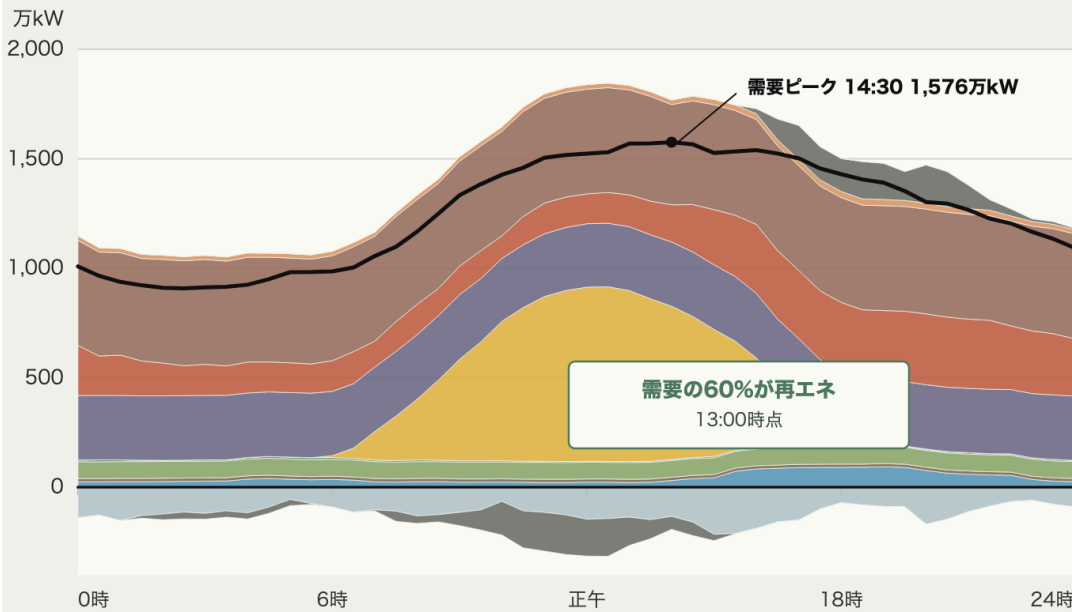
九州エリア

再エネ

91.2GWh

(発電電力量ベース26.9%)

九州エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 339GWh
(3,389万kW)

再エネ	91.3GWh (26.9%)
太陽光	57.6GWh (17.0%)
水力	10.3GWh (3.0%)
風力	1.4GWh (0.4%)
バイオマス	18.5GWh (5.5%)
地熱	3.5GWh (1.0%)
LNG火力	49.3GWh (14.5%)
石炭火力	114.6GWh (33.8%)
石油等火力	5.3GWh (1.6%)
原子力	70.4GWh (20.8%)
揚水・蓄電	8.0GWh (2.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

338.9GWh

需要ピーク

14:30、1,576万kW

連系線・その他

28.4GWhの送電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク797万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は60.0%だった。



2026年8月20日の供給実績

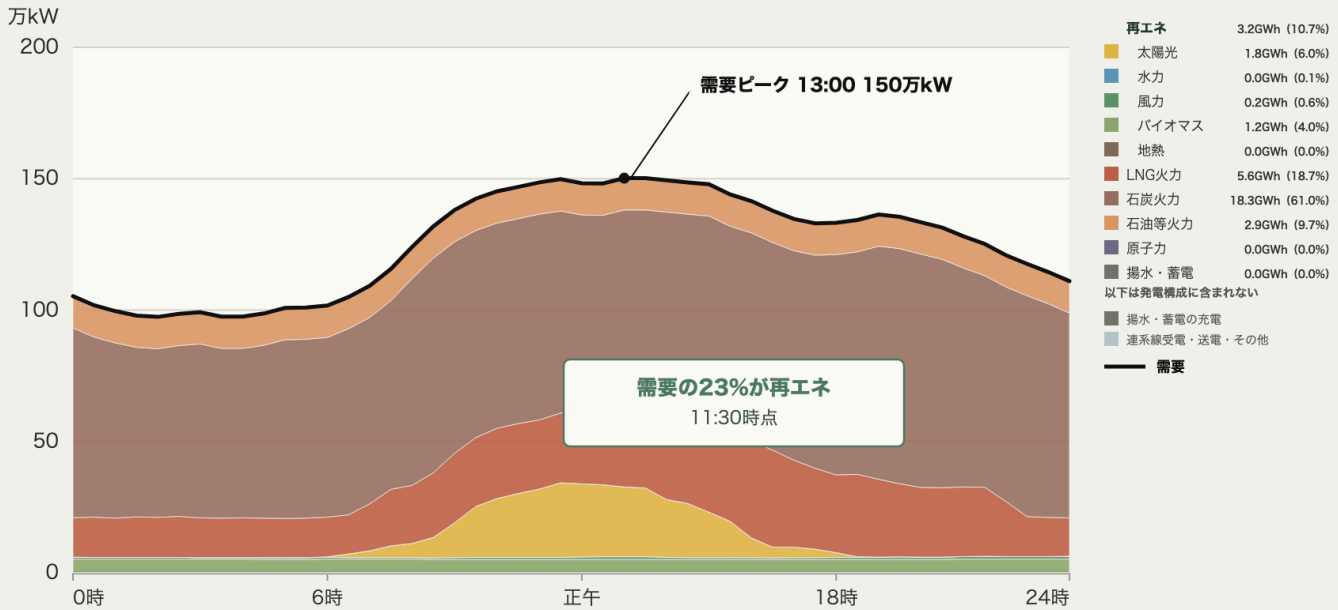
沖縄エリア

再エネ

3.2GWh

(発電電力量ベース10.7%)

沖縄エリア 2026年8月20日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

30.1GWh

需要ピーク

13:00、150万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク28万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.9%だった。